



第91号
 (発行所)
 真宗大谷派 廣讚寺
 松岡山 中村区城屋敷町3-30
 TEL (052) 411-5301
 FAX (052) 411-5341
 携帯 090-1568-4623
 (E-mail)
 matsuka@kosanji.or.jp

仏説阿弥陀経の中でいきる浄土

阿弥陀経には浄土はどのようなところであるかが説かれていきます。

そして浄土は樹や池や楼閣によって荘嚴されているとありますが、それは比喩の表現といえます。

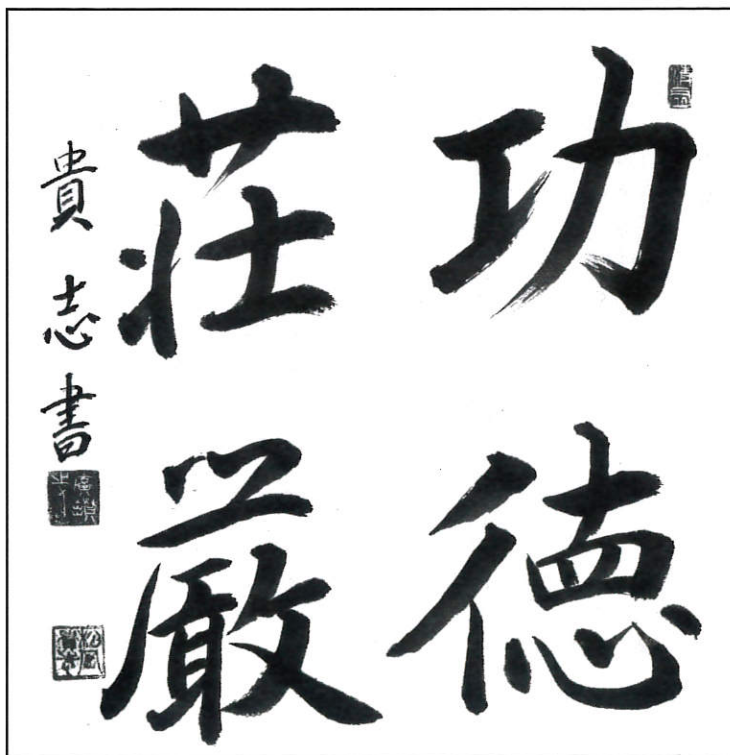
阿弥陀仏のはたらきを表現され、その功德が形をあらわして荘嚴され、形をとおして私たちを導いておられます。それが功德荘嚴です。

日常生活の中で、縁にふれて浄土の法音をいただけるのです。

まさに今、今現在説法なのです。

〔仏説阿弥陀経〕

浄土真宗では浄土三部経（仏説無量寿経・仏説観無量寿経・仏説阿弥陀経）をよりどころの經典としていきます。仏説阿弥陀経ではお釈迦様が浄土の荘嚴を説き、浄土に往生するために念仏をすすめておられます。



法事の準備

自宅で法事をする場合

準備するもの

1、ろうそく

法事の時のろうそくは赤ろうそくです。

ただし満中陰法要（忌明け法要）は白ろうそくになります。2〜4本用意します。

2、打ち敷き

6〜9月の間は夏用の打ち敷きを、10月〜5月の間は冬用の打ち敷きをかけます。満中陰法要の時は裏側にしてかけます。

3、焼香セット

焼香をおこなう場合は、焼香の炭、お香、焼香灰、焼香盆を用意します。

4、お供え餅

お仏壇の中にお供えをします。供筒（くげ）があればその上にお供え餅を二つ三つ重ねて置きます。そして、法事で集まった方々にお供え餅を「おさ

がり」として配ることができるようにもめに用意しておくことが望ましいです。一世帯につき二つずつ配るとよいでしょう。お餅の大きさは直径5センチくらいがいいでしょう。

以上が年忌法要を勤める時に用意しておくものになります。その他、仏花、お仏飯、線香、櫛（しきみ）も忘れないようにしましょう。

法事の引き出物を用意する場合はお忘れなく。

廣讚寺で法事をする場合

持参いただくもの

1、法名。繰り出し位牌、または法名軸。

ただし満中陰法要（忌明け法要）のときは白木の位牌になります。

2、お供え餅

本堂の内陣にお供えします。お供え餅の内容は、自宅で法事を勤める場合と同様です。

3、引き出物

引き出物を用意する場合は忘れずにご持参ください。

4、お茶菓子

御親戚等、お参りされる人数分のお茶菓子（和菓子）を用意してください。お茶はお寺にて用意いたします。

以上が用意をするものです。もちろん、数珠はお忘れなく。肩衣がある方はお持ちいただき、法要中はおかけください。

※お骨、遺影は持参する必要はありません。

法事の前後に、お斎（食事）を用意するのが一般的です。ひとむかし前ですと、家でお斎を料理し出したものですが、それが仕出しに変わり、さらに今はバスを手配し食事処へ行くことが多くなりました。お店選び、バスが迎えに来る時間の交渉が一仕事です。

余談ですが、最近のお斎では、車でみえる方が多くなったせいやお酒を飲む方が少なくなりました。それが理由か、お斎の時間もかなり短くなりました。



繰り出し位牌

平成26年度 廣讚寺講 決算報告

平成26年9月1日
平成27年8月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	46,430円	火災共済	42,880円
廣讚寺講費(219名)	547,500円	建更共済	341,000円
利息	60円	樹木剪定他	180,360円
		香奠(2,000×7)	14,000円
		次年度繰越金	15,750円
合計	593,990円	合計	593,990円

平成27年8月31日

会計 秋田芳廣

行事予定

十月十日(土)七時半 同朋委員会・例会
(役員は七時)

十九日(月)二時～四時 学習会

二十八日(水)十時 二十八日講・女人講

十一月上旬 常任委員会

十四日(土)七時半 同朋委員会・例会
(役員は七時)

十九日(木)二時～四時 学習会

二十八日(土)十時 おみがき

二十八日講・女人講

十二月四日(金)九時 報恩講準備

五日(土)十時 報恩講

六日(日)十時 報恩講

二十組行事

ご命日のつどい

十二月十五日(火) 別院報恩講参拝